

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第 329 号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2014年2月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

ヨーロッパ研修旅行・東海大学進学相談会 SSH東京都内指定校合同発表会



ヨーロッパ研修旅行 バリ ノートルダム寺院にて



SSH東京都内指定校合同発表会ポスター発表会場(東海大学情報通信学部にて)



高2 東海大学進学相談会(文学部心理社会学科)

2013年度学校運営方針

キャリア教育の充実

高校3年生の東海大学関係進学予定者は、6月早々に決定します。高校1年生当初からの進路指導が重要となってきます。学級担任や学年・進路指導部・教頭・校長などの面接を通して、きめ細かい指導を行っていきます。

常に、生徒自らが進路に対して意識するよう意識づけの徹底を図ります。

- (1) 全教員自身が東海大学の学部や学科の内容をより深く理解し、個々の生徒に対して、細かく適切な進路指導ができるようにします。
- (2) 東海大学への体験留学・ハワイ短期留学(1月～2月)および中期留学(9月～3月)・東海大学エクステンションセンターなどの利用により、今以上の教育環境の充実を図ります。

各行事の確立と見直し

高校で行われる主な行事は、1年生の東海大学湘南キャンパス見学、2年生の研修旅行5コース(オーストラリア・ハワイの海外2コース、沖縄・北海道の国内2コース)、学園オリンピック(スポーツ大会)、ハワイで行われる留学があります。また、中等部では校外活動(博物館・古典芸術鑑賞など)、中等部体育祭、水泳実習、英語関係(1年生の東京サイトシーイングツアー、2年生のイングリッシュサマーキャンプ、3年生のニュージーランド海外英語研修旅行)、合唱祭があります。そして、高校と中等部共通の部分では、学園オリンピック(国語、数学、理科、英語、造形、知的財産、ディベートの8分野)、剛健旅行、建学祭、中等部高校合同体育祭などがあります。

現在行われている多くの行事で、特に学校行事については再点検し、生徒にとって有意義な行事とは何かを考えています。良き伝統は大切に引き継ぎ、変化を与える部分は工夫をし、教育効果が得られるものを取り入れていきたいと考えています。

第33回 付属高校生のための ヨーロッパ研修旅行

1年2組 川口市立青木中学校出身 **内田 涼太**

私は今回のヨーロッパ研修を通して中世ヨーロッパの歴史やそれぞれの国の文化に触れることができました。

まず、デンマークでは東海大学のヨーロッパ学術センターに行きました。ここでは東海大学の歴史や創設者の故松前重義博士の話などを聞き、現代文明論の授業の内容をさらに深めることができました。またニューハウンでは、テレビや写真などでしか見たことのないきれいな石造りの街並みを見ることができて感動しました。

次にドイツのフュッセンではノイシュヴァンシュタイン城を見学しました。この城は小高い山の中にあり徒歩で行きました。城は壮大で高く迫力がありとても美しいものでした。また、城から見える遠くの街並みは坂道を登ってきた疲れを忘れさせるほどきれいなものでした。さらにザルツブルクではモーツァルトハウスを見学しました。モーツァルトの生涯をたどることで、彼がなぜ天才と呼ばれるのかが理解できました。「きよしこの夜」の曲が初めて歌われたというオーベルンドルフ教会の祭りに参加してコーラスを聴き、感動しました。

最後にパリでノートルダム寺院・コンコルド広場・凱旋門・シャンゼリゼ通り・ルーブル美術館・ヴェルサイユ宮殿など、フランスの代表的な場所を見学することができました。11日間でヨーロッパの4カ国を回り、貴重な体験をすることができました。また、訪れた所で私の拙い英語が通用したことはとても自信につながりました。これをきっかけに英語の授業にもっと力を入れたいと思います。さらにこの研修でお世話になった方々や参加させてくれた家族に感謝し、この経験を今後の生活に生かしていきたいと思っています。



ノイシュヴァンシュタイン城にて
(左端が内田君)



デンマーク ニューハウンにて
(左から2人目が池田さん)

2年7組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身 **池田 有希**

今回のヨーロッパ研修は、とても大きな経験になりました。今回の研修でさまざまなことを学ぶことができました。

私がこの研修に参加した理由は、歴史あるヨーロッパの建築物やその国々の風景を見ることが、日常生活における日本との文化の違いを肌で感じたいと思ったからです。

デンマークやドイツでは、生活の中に根付いたエコがみられました。また、クリスマスを祝う人々の歓喜が伝わってきて、それは日本とは比較できないほど盛大なものであり目を見張るものでした。私は童心に帰って、素直にサンタさんとハグすることができました。また、オーストリアやフランスではきれいな景色をたくさん眺めることができました。オーストリアはまるでドールハウスの中にいるような気持ちになりました。念願のパリは言葉では言い表すことができないほどの感動の連続でした。だから、今度はプライベートで行く決心をしました。

そして、このヨーロッパ研修で最もよかったのは、他の付属高校生と仲良く過ごし、友達がたくさんできたことです。県を越えて友人ができることは、この研修の大きな魅力だと思います。研修後も仲良くできる友人ができて満足しています。

この研修に携わってくださった先生方、現地の方々、一緒に過ごした仲間たち、現地についていろいろと教えてくれた友達、そして両親に感謝しています。今回の貴重な経験を今後の進路に生かしていきたいと思っています。

星野道夫「学校向け写真展」／星野直子さん講演 「星のような物語」

昨年の10月18日から31日の10日間、星野道夫事務所のご協力と東京私立中学高等学校協会からの助成を受けて、アラスカの自然を撮り続けた故・星野道夫さんの写真パネル34点を展示する「学校向け写真展」を実施しました。また会期中の10月24日には、道夫さんの奥様である直子さんにご来校いただき、高校全クラスを対象に「星のような物語」と題した講演を行っていただきました。

生徒たちは直子さんのお話に耳を傾けながら道夫さんの作品を鑑賞し、遙か遠いアラスカの地に思いを馳せました。



星野道夫さんのことは中学時代に英語の教科書に出てきたので知っていましたが、詳しいことは知らなかったもので、今回の講演はとても興味深いものとなりました。私がいちばん驚いたのは道夫さんの行動力です。私には自分からアラスカの村長に手紙を出す勇気はないだろうと思いました。しかし、その行動力が彼の人生を大きく動かしたということを知り、私も積極的にいろいろなことに挑戦しようと思いました。(高1・男子)

自然の中で動物たちはこうやって生活をしているのだな、ということが伝わってきました。そして、動物の赤ちゃんや親子の写真は、本当に心が温かくなりました。生命の姿というものはとても素晴らしいものだと思います。星野さんがどのように写真を撮り続けてきたか、わかったような気がしました。もっともっと星野さんの写真を見たいです。(高1・女子)

写真の説明を聞いてみると、どういう状況の一瞬なのか分かり、驚くばかりでした。特に、カリブーの群れを上から撮った写真は「点々一つひとつがカリブーです」と聞いて、カリブーの多さに鳥肌が立ちました。星野道夫さんから若い人へのメッセージの中に「自分の好きなことに出会えることはそう多くない」という言葉がありましたが、いま大学の学部を選んでいる私にとって、考えさせられる言葉でした。(高2・女子)



生前の星野道夫さんの人柄と信念が、撮った写真と直子さんの言葉から伝わってきました。特にクジラを解体するイヌイットの写真からは、ふだん通り暮らしているだけでは絶対に感じることはできないような不思議な感覚がしました。自分も星野さんのように、貴重な経験を積むことができるように努力を続けたいです。(高2・男子)



最後の「人生が短いということを知っておいてほしい」という言葉を聞いて、今のうちにより多くのもを見たいと思いました。高2のときにヒッチハイクでアメリカを回るという星野さんの行動力も、その言葉を聞くと納得できました。これから多くの経験をする機会が訪れると思うので、時間を無駄にしないようにしたいと思いました。(高3・女子)

いちばんすごいと思ったのは、本屋で見つけた一冊の本で人生が変わったということです。ドラマのようなことが本当にあるのだなと思いました。僕もいま大きな夢があるのですが、この話を聞いてその夢が少し近づいた気がしました。ありがとうございました。(高3・男子)

僕が若い人たちに伝えたいこと、それはなるべく早い時期に、人間の一生(又は自分の一生)がいかに短いものかを感じとってほしいということだ。日々を生きる中、また将来を考える時、生と死の接点という感覚を持ち続けてほしいということだ。それは悲しいことでも何でも無い。自分の持ち時間が限られていることを本当に理解した時、それは生きる大きなパワーに転化する可能性を秘めている。たった一度のかけがえない一生をどのように生きてゆくのか、真剣に考えざるを得なくなるからである。

『星野道夫著作集5』(新潮社)「アラスカからのメッセージ」参照



中等部1学年だより

12月5日。後期中間試験が終わった次の日は、スポーツ大会とキャリア教育が行われました。勉強漬けの生活から一転、スポーツ大会での白熱した戦いや、企業による出前授業など、目まぐるしい一日となりました。その一日で感じた生徒の思いを紹介します。

スポーツ大会

萩生田 薫

1年A組 横浜市立東小学校出身

今年2回目のスポーツ大会。今度こそ、全勝したいな、とすごく楽しみでした。

私たちの出場する競技は、シュート合戦とバレーボールと綱引きでした。バレーボールでは、男子が意外にチームプレーが良くて、たくさん点を入れていったところがびっくりしました。シュート合戦でも、5月ぐらいに行ったときとは違い、ボンボンシュートしていきました。男子のバスケ部の人たちが中心に頑張ってもらったお陰でいい得点が出ました。綱引きは、みんなで円陣を組んで、心をついにしました。しかし、女子も男子も、負けてしまい、少し落ち込みました。でも、心をついに綱を一生懸命引いたので悔いはなかったです。

来年は、全勝できるように力をつけます。そして仲間と協力し合い、もっと楽しいスポーツ大会にしたいです。

「LION」のキャリア授業

安田 紗織

1年B組 横須賀市立諏訪小学校出身

私がライオンのキャリア授業を受けて思ったことは、「歯を大切にすると」「ウイルスの予防が大切」ということです。私は、あまり予防などをしないため、とても参考になりました。手の洗い方など、私は雑だったので正しい方法が学べてよかったです。手に残るばい菌などを見られてとても面白かったです。

歯の方では、歯の正しい磨き方、デンタルフロスの使い方などを学びました。一番びっくりしたのは、虫歯になる人の数が減っていることです。クラスでも虫歯になっている人の数が少なかったのに驚きました。とても面白く学べました。

私はキャリア教育を受け、とても良い機会になりました。そして、楽しく学べてよかったです。来年もこういう機会があるとよいです。



心をついに一生懸命引きました



優勝はB組。おめでとう!



手に残ったばい菌の量は…?



デンタルフロスの練習中…

中等部2学年だより

科学技術館での校外活動

12月3日(火)、4日(水)の2日間にわたり後期中間試験が実施されました。試験翌日は、午前中にアリーナでスポーツ大会が開催され、2年生はバレーボール、バスケットボール、綱引きに汗を流し、午後にはパナソニック(株)から講師をお招きしてのキャリア教育を受講しました。このような盛りだくさんの1日の翌日6日(金)には、今年度3回目の校外活動が実施され、東京九段にある「科学技術館」を訪問しました。今回の校外活動は前期の日本科学未来館に引き続き「科学」をテーマにしており、生徒たちはさまざまな体験を通じて知的な刺激を受けたようです。



回すとどうなるかなあ?



興味を持った展示物をワークシートに記入!



偏光板を通すとどう見えるかな?

「便利」の中で大切なもの

稗田 裕樹

2年A組 世田谷区立中丸小学校出身

科学技術館に行くのは初めてで、今の科学技術は進んでいると改めて思いました。いろいろな展示物を見ていた中で一番驚いたのは、「アクトロイド」という人型のロボットでした。話しかけてみると、質問した言葉の意味を考えてからその答えを的確に返してくるので、びっくりしました。また、言葉に沿った動きをしているところも、すごいと思いました。今の時代はとても便利になっていて、電気、ガス、水道などのライフラインもコンピュータを使って制御するようになっていきます。今回科学技術館に行って考えたことは「どこまでを機械に頼るべきか」ということです。「アクトロイド」などAI(人工知能)を使えば人に危険が及ぶ仕事もできますが、やはり「人と人との関わり合いも大切にしなければいけないだろう」と、改めて考えるようになりました。

科学の興味を深める

青山 知生

2年B組 大田区立新宿小学校出身

中間テストが終了した翌々日、12月6日金曜日、校外活動がありました。今回の場所は科学技術館というところでした。もともとは別のところへ行く予定でしたが、そこが閉館してしまったので、この場所になりました。今回の校外活動の目的は「科学に関する興味を深める」ということでした。

まず、ぼくたちB組は5階から見ていくことになりました。必ず見学する場所に指定された「オプト」というコーナーでは、光の原理などを利用した展示物があり、なかでも「目に見えるけれど、実際にはつかめない」というものに注目しました。これは中が鏡になっており、光が中で反射し続けることで像が近くに見えるという仕組みでした。

また、3階では電気をどのようにつくるのかという展示をやっていました。これは主に磁石とコイルを利用して風や水力などにより、誘導電流を流しているそうです。

今回の校外活動で見たものは理科で習ったことを応用しているものだとわかり、さらに科学に興味を持つことができました。

中等部3学年だより

中等部3学年は、12月6日(金)に、校外活動に行きました。今回は国立劇場で、「文楽」を鑑賞しました。初めて見に行く生徒、過去に見たことのある生徒が、それぞれの想いで臨んだ文楽鑑賞教室でした。以下がその活動報告です。

文楽で学んだこと

紀 昂来

3年A組 江東区立豊洲北小学校出身

僕は、今回初めて文楽というのを見ました。僕はどうしてこんな機械が発達している時代にわざわざロボットではなく、人の手で人形を動かすのかを文楽を見ている時に学ぼうとしました。

文楽を実際に見ている時、とても簡単そうだなと思いました。でも、人形などの説明を聞いているうちに、人の連携プレーで一人でもミスをしてしまうとくずれるところではすまないとわかって、すごく難しい技術が必要なことだと気付きました。

僕は今回文楽を見て、なぜ現代的なロボットを使わないのかがわかりました。理由は、古き良き伝統の高度な技術は、とてもロボットでは表現ができないからだと思います。人がやるからこそ、美しいものがあると文楽から学びました。

文楽鑑賞

金子 瑞樹

3年B組 横須賀市立大塚台小学校出身

12月6日、国立劇場で、文楽の鑑賞がありました。自分は、文楽を見るのも、国立劇場に行くのも初めてなので、どんなものなのかと思いました。

文楽の鑑賞では、まずはじめに、団子売りの話があって、そのあと休憩をはさんで、メインの話が始まりました。

松王丸という人物が、菅原道真の息子が追われているのを知り、彼に恩を返すために、自分の息子を身代わりに差し出すというとても悲しい話でした。

内容は中学生には難しいところもありましたが、鑑賞している人に物語の解説をしてくれる、イヤホンガイドを学校が劇場から借りてくれたお陰で、物語の内容をしっかりと理解することができました。

また機会があれば、文楽を鑑賞したいなと思いました。

文楽を鑑賞して

田口 隼平

3年A組 江戸川区立平井第二小学校出身

今回文楽を見に行き僕が一番すごいなと感じたのは、語りをしている太夫の人たちでした。確かに曲を全部覚えている三味線や、三人で息を合わせている人形もすごいですが、老若男女の喜怒哀楽を一人で、それも声だけで表現している太夫さんが一番すごいなと感じました。

僕は文楽を見ていて、時々舞台だけではなく、太夫さんたちのいる方も見るようにしていたのですが、太夫さんはただ座って台本を読んでいるのではなく、小さくですが体を動かしていました。僕はそれを見て、言葉一つ一つにより感情を込めているのだなと感じました。

今回の校外活動を通して、自分の気持ちをより多くの相手に伝えられるようになりたいと思いました。

文楽について

佐藤 良樹

3年B組 横浜市立新吉田小学校出身

開演してみると、まず、文楽の説明がありました。文楽は、江戸時代から続いているのだそうです。僕自身は、もう少し古い芸術なのかと思っていたので、比較的新しいものだったのかと思いました。人形浄瑠璃に使われる人形を用いて、解説がありました。その人形は、とてもリアルで、丁寧に作られていることがわかりました。最初に「団子売り」という話を鑑賞しましたが、2体の人形が舞台の上を、踊ったりしていました。とても明るいテンポの曲が流れていて、江戸時代は、とても活気があったのかと思いました。

そのあと、文楽の魅力についてさまざまな角度から説明がありました。ただ、用語が難しかったので、もう少し自分も文楽について学ばなければと思いました。ただ、どうやって人形を動かすのか、お話はどうなっているのかを理解することができたことは、とてもよかったです。

内容が充実していたので、また見たいなと思いました。



国立劇場前で



これから鑑賞です

高校1学年だより

今年の抱負を生徒に書いてもらいましたので紹介いたします。

1組

【女子】部活動も勉強も将来の夢もあきらめずに追い続け、それを応援したくなるような人間になりたい。

【男子】全国優勝という目標に向かって365日、何事にも積極的に全力で取り組む。

2組

【女子】常に考えて行動し、陰での努力を怠らず、自分に自信をもてる人になる。

【男子】今年は勉強や部活動を頑張り、去年できなかったことにもチャレンジしていきたい。

3組

【女子】今年の抱負は、勉強をより一層頑張り、部活動もけがなく楽しく過ごすことです。

【男子】今年は行きたい学部・学科に行って夢を叶えられるように、理系全教科の成績を上げるようにする。

4組

【女子】去年は先輩に学ぶ1年だったので、今年は後輩に学ばれる先輩になれるように頑張ります。

【男子】けがをせず、恥を恐れず、努力を忘れず、何事にも全力で挑むこと。

5組

【女子】自分に甘えがちなところを改善して、もっと自分を客観的に見つめられるようにする。

【男子】部活動で大きな大会に出場できるように、日々の小さな練習の積み重ねを大切にする。

6組

【女子】部活動では自分を甘やかさずに追い込み、勉強は日々の努力を積み重ねる。

【男子】自分の目標とする学部・学科に進学するために、勉学に励み、部活動との両立を達成する。

7組

【女子】学校生活・部活動・私生活のどれにも手を抜かず全力で取り組む。勉強も毎日努力する。

【男子】自立できるように一人で行動できることは他人を頼らずに自分でやる。両親を頼らない。

8組

【女子】自分に厳しく、他人に優しく、他人のためにも自分のためにも全力を尽くす。

【男子】私は部活動と勉強の両立に励み、勉学において、今まで以上の成績向上を目指します。

9組

【女子】その日の授業をその日のうちに復習する。そして、平均70点以上をとれるよう努力する。

【男子】部活動と勉強、SSH活動を工夫して両立し、基礎学力試験で上位を目指す。

高校2学年だより

ありし昔を今偲ぶ～泉岳寺見学～

2013年12月10日(火)～12日(木)に、2学年の生徒は、本校校歌にも謳われている「赤穂の浪士」所縁の泉岳寺を見学しました。今号はその報告です。

事前指導：11月21日(木)HR活動でBS-TBS「謎解き!江戸のススめ「忠臣蔵の真実」」(2012年12月10日放送)を視聴、事件の顛末に関する基本情報をワークシートを用いて学習

見学当日：クラスごとに、「大石良雄外十六人忠烈の跡」を見学後、泉岳寺を訪問、泉岳寺に関するクイズ(ワークシート)に答え、それぞれの感想を記入



- ほとんどの建物が戦争で焼けちゃったけど、残っているものもあってすごいなあと感じました。他の建物とは雰囲気違って、戦争を物語っているように見えました。
- 実際に赤穂義士が切腹した所が今も残っているというのがすごいと感じました。同じ場所に自分もいるということが不思議な感じがしました。
- 高輪台高校に通っているという「あの泉岳寺のある?」と聞かれます。この学校に通っている以上、3年間のうちに1度は行かないといけななと思っていましたが、みんなで泉岳寺に行けてよかったです。
- 泉岳寺と赤穂浪士の墓がこんなにも身近にあるとは知りませんでした。平日の昼なのに外国人や参拝する人がいて、有名なところなんだと感じました。
- 首を洗った井戸は少し怖かったです。切腹をして生涯を終えた人たちが眠っているということを忘れないようにします。今回見られなかった場所もいつか見に行きたいです。
- どんなことが起きたのかは大体わかっていたのですが、実際に赤穂浪士の墓がある泉岳寺に行ってみると、昔本当にあったことなんだと歴史のすごさを改めて感じました。
- 映像で見るよりも実際に見た方がやはりすごかったです。大石内蔵助良雄銅像の向いている方角と意味がわかってよかったです。いろいろな物語があるんだとよくわかりました。
- 今回はじめて泉岳寺に入りました。今ちょうど映画『47RONIN』という映画がやっていて、歴史的に有名なものが学校のすぐ近くにあるということはすごいことだなと思いました。
- 大昔の出来事がたくさんを経た今につながり、私たちの目の前に、その時代に生きていたとされる人の血がかかったと言われる石があるのが、すごく不思議な気持ちになりました。
- 47人という少なさで討ち入りをしたことは本当にすごいなと感じました。しかも、私たちと同年代の人も参加していたことを聞いて、自分の意思があり、かっこいいなと感じました。
- 平日にも関わらずたくさんの方がいて驚きました。見学後、家に帰った後、おじいちゃんと泉岳寺に関しての話をたくさんしたので、泉岳寺がさらに身近なものになりました。

(紙面が限られていますので、クラス・氏名等は省略します)

高校3学年だより

高校3年生は、卒業試験終了後の12月10日から1月31日までの期間、特別講座を行っています。大学での講義をより理解していくために、進路別にクラスを再編成して授業を展開します。また、さまざまな企業が出前授業として本校に来校したり、逆に生徒が企業に訪問して授業を受けたりするという取り組みも行っています。今回は、いくつかの出前授業、訪問授業の感想を聞いてみました。

企業連携 キャリアコンサルティング

森芳 大飛

3年4組 千代田区立神田一橋中学校出身

私たちのクラスでは、キャリアコンサルティングの高橋弘一さんに来ていただきました。授業の内容は、興味深いものが多かったのですが、中でもコミュニケーション能力を向上させるグループ学習が印象に残っています。人とコミュニケーションを図るには共通点を見つけることが重要で、それを引き出す質問力もまた大切であると学びました。また高橋さんはサッカー部のOBであるということで、個人的にも非常に話しやすく、ここでも共通点の重要性を感じました。

このような貴重な時間を与えてくれた先生方や企業の方々に感謝して、今後の大学生活に生かしていきたいと思います。



企業連携 東京弁護士会

新井 烈士

3年2組 足立区立入谷中学校出身

私たちは今回、弁護士さんに出前授業をしていただきました。事前に、死亡事件に関する裁判の再現映像を見ましたが、そこには最後の判決のシーンがありませんでした。その判決内容を、私たちが考えるというものでした。数人で班を作り、話し合いました。加害者に殺意があったかどうかという点について、意見が割れました。途中で弁護士さんからのアドバイスなどもあり、ようやく一つの意見にまとめることができました。

最後に弁護士さんに対する質問をしました。私たちが想像する「弁護士」の仕事もちろん、それ以外にも多くの仕事をしていることがわかりました。いろいろなお話を聞けて、とても有意義な時間を過ごせました。

ハーゲンダッツ

野田 健仁

3年7組 千代田区立神田一橋中学校出身

今回、アイスクリーム会社であるハーゲンダッツジャパン株式会社に行き、商品開発について学びました。ハーゲンダッツでは、美味しいアイスクリームを作るために、ミルクを採取する牛一頭一頭のデータを取り、それに応じて餌を調節するそうです。また抹茶味を開発するまでに数年の歳月がかかったことを知り、とても驚きました。

ハーゲンダッツが他のアイスと比べて高いのは、徹底的に品質にこだわり、質の良いアイスをお客様に届けることが使命だと考えているからです。私も将来、このようなこだわりの商品を開発したいと思いました。



ハイパーフィットネス

黒川 和樹

3年5組 横浜市立末吉中学校出身

私たちのクラスではハイパーフィットネスの小木さんに来ていただきました。1時間目にはクイズ形式で日本とアメリカのフィットネス業界について学びました。日本ではフィットネスクラブが3,500店舗あり、人口の3%が加入しているのに対して、アメリカでは30,000店舗もあり、人口の15%が加入していると知り、とても驚きました。2時間目には、全員でボクササイズを行いました。パンチやキックの動作を取り入れたエクササイズで、みんなで声を出しながら約30分運動しました。

私にとってフィットネスは身近なものではありませんでしたが、この授業がきっかけで、興味を持つようになりました。私もフィットネスクラブへ行ってみたいと思いました。

ファミリー・スーパーサイエンス教室・SSH東京都内指定校合同発表会

12月14日(土)に、地域の小学3年生～6年生を対象とした科学教室「ファミリー・スーパーサイエンス教室」を開催しました。科学講座「机をかざるやじろべえをつくろう」では元東海大学理学部教授の鈴木恒則先生のご指導の下、SSHクラスの生徒がアシスタントとなって子供たちの作業を手伝いました。また、各体験コーナーでは、生徒が先生役となり、10個の実験・実習を子供たちに披露しました。地域の子供たちに科学の面白さを伝えるとともに、SSHクラスの生徒たちにとっても、科学について深く学ぶ機会となりました。

12月23日(月)に東海大学高輪キャンパスにて「SSH東京都内指定校合同発表会」が行われました。東京都内のSSH校12校が集まり、口頭発表とポスター発表を行い、日頃の研究成果を発表することができました。他の学校の生徒や先生方から実験のアドバイスやアイデアをもらい、貴重な経験をすることができました。

小学生に教えること

磯野 駆

1年9組 世田谷区立奥沢中学校出身

私は科学体験講座のTA(ティーチング・アシスタント)として参加し、他のTAや元東海大学教授の鈴木先生をはじめとする先生方と協力して、やじろべえの原理や仕組みについて「重心」という言葉をテーマにした講義を行いました。最初は小学生相手にやじろべえについて教えることはとても簡単なものだと思っていましたが、いざ準備を始めるとさまざまな課題が行く手を阻みました。そのうちの一つが用語の説明です。「重

心」という言葉は、私たち高校生からしたら簡単なものですが、ほとんどの小学生がこの言葉の意味を知りません。そのため、どのように説明したら理解してもらえるかを自分たちなりによく考え、まとめました。こうした準備をしっかりと行ったお陰で、当日の講義も無事終えることができました。今回の取り組みを通して、人に伝えることの難しさや楽しさを改めて学ぶことができたので、また来年も機会があれば参加したいと思います。

ファミリー・スーパーサイエンス教室に参加して

吉田 響

2年9組 上板橋第一中学校出身

私は、ファミリー・スーパーサイエンス教室において液体窒素のブースを担当しました。液体窒素の扱いは危険が伴うため、小学生にケガをさせてしまう恐れもあり、始まるまでは、失敗をしないか、ケガをさせてしまわないか、とても不安でした。しかし、始めてしまえば、心配をしていた失敗やケガなどもなく、無事に終わることができほっとしました。また、来てくださった小学生や保護者の方々に楽しんでいただけたことが何よりうれしかったです。

今回の経験で、楽しく安全に実験を行うことや相手にわかりやすく説明することは、とても難しいことだと改めて実感しました。

私は幼い頃、科学の体験教室に参加した時の楽しさとワクワクした気持ちを今でも覚えています。今回逆の立場になることができ、来てくれた小学生たちにも、科学の面白さや楽しさが伝わり、記憶に残ってもらえたらうれしいです。

理解してもらうことの難しさ

筒井 翔太郎

3年9組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私は12月23日に行われた東京都内指定校合同発表会で口頭発表する機会をいただき、体を切断しても再生することができるプラナリアの学習と記憶について発表しました。会場は東海大学高輪キャンパスだったのですが、会場がとても広く、他校の生徒に発表することに緊張していました。発表では図を多く使い視覚的に理解してもらえるようにしたのですが、質疑応答では各学校から鋭い質問を受け、自分の説明の仕方では及ばないところが露呈してしまい、含意ではなく細かく

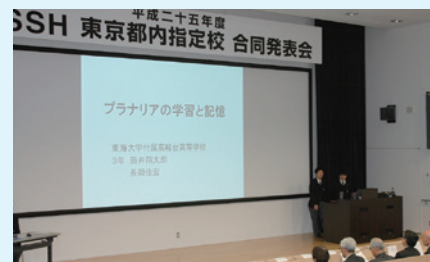
説明することが大切だと痛感しました。同日にポスターでの発表も行われたのですが、そこでも他校の先生、生徒からアドバイスをいただいたり、意見交換をさせていただいたりしました。その中に、「これからプラナリアの研究をするので参考にさせてほしい」と言ってくれた1年生の生徒がいました。プラナリアは明らかになっていないことも多いので、最後に自分の研究したことをさらに掘り下げてくれる人がいることがうれしかったです。



巨大シャボン玉の中に入れてもらいました



やじろべえの作り方を丁寧に教えてあげました



多くの人の前で口頭発表を行いました

TOKAI キャンパスメッセージ

「ヨーロッパ」を多角的に学ぶ

東海大学文学部ヨーロッパ文明学科主任代行 金沢 百枝

ヨーロッパ文明学科は「ヨーロッパ」という地域を、哲学、神話、科学史、スポーツ、文学、美術、演劇、キリスト教、現代史、民俗学など、さまざまな角度から学ぶ学科です。「ヨーロッパ」は遠いと思う方もいるかもしれませんが、現代日本はヨーロッパを起源とする事物に溢れています。

例えば、スターバックスのロゴの人魚。胸は長い髪で覆われ、杵で切り取られています。実はこのタイプの人魚像が生まれたのは、中世キリスト教の教会堂でした。美しい歌声で船乗りを死へ導くサイレーンは、古代ギリシャの怪物ですが、教会では悪へ導く「誘惑」の象徴とされました。古代では、サイレーンの下半身は鳥。古代から中世へ、地中海から北ヨーロッパへ伝承や図像が伝えられたとき、いつしか人魚へと変身し、今では世界中で人々

を別の形で「誘惑」しています。人魚がつけている冠にも意味があり、この人魚がただものでないことが読みとれるのですが…続きはぜひオープン・キャンパスで！他にも、ベンツ車やテディベアから語る「現代ドイツの製品史」、「ヨーロッパの戦争」、「ギリシャ・ローマ神話」なども。

ひとつの学科で、ヨーロッパについてこれほど多角的に学べる場所はそう多くありません。留学へ行く学生が多いのも学科の特色です。また、当学科では、体験型授業や特別講義も多く実践しています。写真はモザイク画実習の様子。実際に大理石を割り、苦勞して作ってみると、体験前とは違った角度から作品を見ることができると好評です。

本学科に入学した高輪台高校卒業の方も、それぞれの夢に向かって挑戦中です。2010年入学の兵藤小百合さ

んはニューヨークでメイクアップ修行をし、現在では某女性誌でメイクの仕事に携わるなど活躍しています。同じく2010年入学の宮原孝治くんは、現在、ブダペストに留学中。ハンガリー語習得に磨きをかけています。東欧の民族音楽や少数民族について研究しつつ、休暇を利用してヨーロッパ中を一人旅しています。同じく2010年入学の布施美咲さんは「ヨーロッパのカフェ文化とその日本への影響」についてオリジナリティーのある卒業論文を書き上げました。2011年入学の中村洋平くんはゼミ長を務めつつ、「ヨーロッパの自転車競技と景観プロジェクトの歴史」について勉強中です。2012年入学の小林航太くんはフランスのワイン文化に関心があり、フランス語学習に励んでいます。みんな、将来が楽しみな学生ばかりです。



モザイク実習の様子



出来上がったモザイク画と一緒に集合写真



美術館見学における集合写真



金沢先生著書

『イタリア古寺巡礼 ミラノ→ヴェネツィア』
『イタリア古寺巡礼 フィレンツェ→アッジジ』
『イタリア古寺巡礼 シチリア→ナポリ』
新潮社 とんぼの本

東海大学新聞 2月1日号「研究室訪問」のコーナーに金沢先生が登場します。

お知らせ

基礎力判定テスト 高1、高2

■ 日程 2月13日(木) ■ 試験科目 国語・地歴公民・数学・理科・英語

高校生として身につけておく必要のある基礎学力のチェックです。
これまでの学園テスト、外部テスト、中間・期末テストを再度見直して復習を!!

中等部3年 ニュージーランド海外英語研修旅行

日程 2月12日(水)～21日(金)

オークランドで8泊のホームステイを行い、昼間は現地の語学学校で語学研修を行います。
英語力をさらに向上させるための英語研修のほかに、
現地校訪問では現地の学校で授業に参加し、牧場では羊毛刈ショーを見学します。
十分に準備をして素晴らしい思い出を作ってください。

行事予定

February 2月

March 3月

- 1日(土) 中等部第1回入学試験
- 2日(日) 中等部第1回入学試験合否発表
- 3日(月) 中等部第2回入学試験 生徒自宅学習
- 4日(火) 中等部第2回入学試験合否発表
- 5日(水) 答案返却日(中3)
- 6日(木) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 10日(月) 高校一般入学試験 生徒自宅学習
- 11日(火) 建国記念の日
高校一般入学試験合否発表
- 12日(水) 月曜日の授業 専門医によるカウンセリング
ニュージーランド海外英語研修(中3、～21日)
- 13日(木) 基礎力判定テスト②(高1・2、5教科)
- 15日(土) 新1年制服採寸・教材販売(中等部・高校推薦)
- 18日(火) 校医相談日
- 22日(土) 中等部新入生・保護者登校日(10:00～)
新1年制服採寸・教材販売(中等部・高校一般)
- 28日(金) 3年生を送る会
高輪会入会式(高3)

- 2日(日) 中等部第5回・高校第65回卒業証書授与式
- 3日(月) 振替休日(生徒休業日)
- 6日(木) 高校後期期末試験(～11日)
- 7日(金) 中等部後期期末試験(～11日)
- 8日(土) 新1年制服採寸・教材販売(高校延納)
- 12日(水) 生徒自宅学習日
- 13日(木) 答案返却日 教科書販売(新中3、新高3)
- 14日(金) 生徒自宅学習日
- 15日(土) 付属高校生のための東海大学オープンキャンパス(高1)
- 17日(月) 生徒自宅学習日
- 18日(火) 修了式・離任式 教科書販売(新中2、新高2)
- 21日(金) 春分の日
- 22日(土) 新1年クラス分け試験
- 24日(月) 中等部希望者講習(～28日)
高校基礎力判定テスト結果補習(～28日)
- 29日(土) 後援会委員総会

進学相談会



編集後記

「2月はなぜ28日なのだろう?」幼き頃、だれもが不思議に思ったことではないだろうか。調べてみると、古代ローマの皇帝アウグストゥスが、極めて個人的な理由で2月を1日減らしたという説を発見した。これが事実ならばひどい話である。国内に目を移すと、年末に特定秘密保護法が成立した。衆議院での強行採決をはじめとする政府の強引な手法に対して、新聞紙面には拙速・暴挙という文字が躍っていたが、「国家のために国民があるのではない。国民のために国家があるのだ」と習った世代の私には、この出来事もひどい話に映る。(き)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>